

男性の育児休業取得促進（「イクメンプロジェクト」）

28年度予算案額 69,803千円
(27年度予算額 49,895千円)

- 1 「イクメン企業アワード」「イクボスアワード」について企業への周知及び好事例の普及
- 2 各自治体の取組に関するイクメンプロジェクト公式サイトへの掲載（情報提供）について御協力をお願いしたい。

イクメン企業アワード（平成25年度創設）

働きながら安心して子どもを産み育てることができる労働環境の整備推進を目的として、男性労働者が育児と仕事を両立するための、**企業のキラリと光る取組**に着目し、表彰する。

<平成27年度実績>

○応募総数 62社

○表彰状況

【グランプリ】 2社	社会福祉法人桔梗会（群馬県） 大同生命保険株式会社（大阪府）
【特別奨励賞】 3社	コネクシオ株式会社（東京都） 東京急行電鉄株式会社（東京都） 株式会社ローソン（東京都）

イクボスアワード（平成26年度創設）

部下の育児と仕事の両立を推進するために配慮し、部下の育休取得や短時間勤務などがあっても業務を滞りなく進めるための工夫をしつつ、自らも仕事と生活を充実させている**管理職**を表彰する。

<平成27年度実績>

○応募総数 65名

○表彰状況【グランプリ】 3名 【特別奨励賞】 2名

イクメンプロジェクト公式サイト

【自治体に関するコンテンツ】

1 日本全国ご当地取組の紹介

全国の自治体のイクメンに関する取組を紹介。
(毎月19日更新)

2 父子手帳コーナー

自治体が作成している「父子手帳」について紹介。
(随時更新)

3 メールマガジン

自治体等が実施するイクメンに関するイベント等の情報について、メールマガジンで配信。
(毎月19日配信)

○情報提供はこちらまで⇒イクメンプロジェクト事務局
info@ikumen-project.jp

<参考> 資料がダウンロードできます。企業等への周知にご活用ください。



■イクメン企業アワード
受賞企業の取組事例集

■イクボスインタビュー集

■父親の仕事と育児両立読本
(WLBガイド) など

子育て援助活動支援事業（ファミリー・サポート・センター事業）の概要

子育て援助活動支援事業(ファミリー・サポート・センター事業)は、乳幼児や小学生等の児童を有する子育て中の労働者や主婦等を会員として、児童の預かりの援助を受けることを希望する者と当該援助を行うことを希望する者との相互援助活動に関する連絡、調整を行うものである。

平成21年度からは、病児・病後児の預かり、早朝・夜間等の緊急時の預かりなどの事業(病児・緊急対応強化事業)を行っている。

なお、本事業については、平成17年度から「次世代育成支援対策交付金(ソフト交付金)」、平成23年度から「子育て支援交付金」、平成24年度補正予算により「安心こども基金」へ移行した。平成26年度は「保育緊急確保事業」として実施した。

さらに、平成27年度からは、「子ども・子育て支援新制度」において、「地域子ども・子育て支援事業」の1つに位置づけられ、「子ども・子育て支援交付金」にて実施している。

○相互援助活動の例

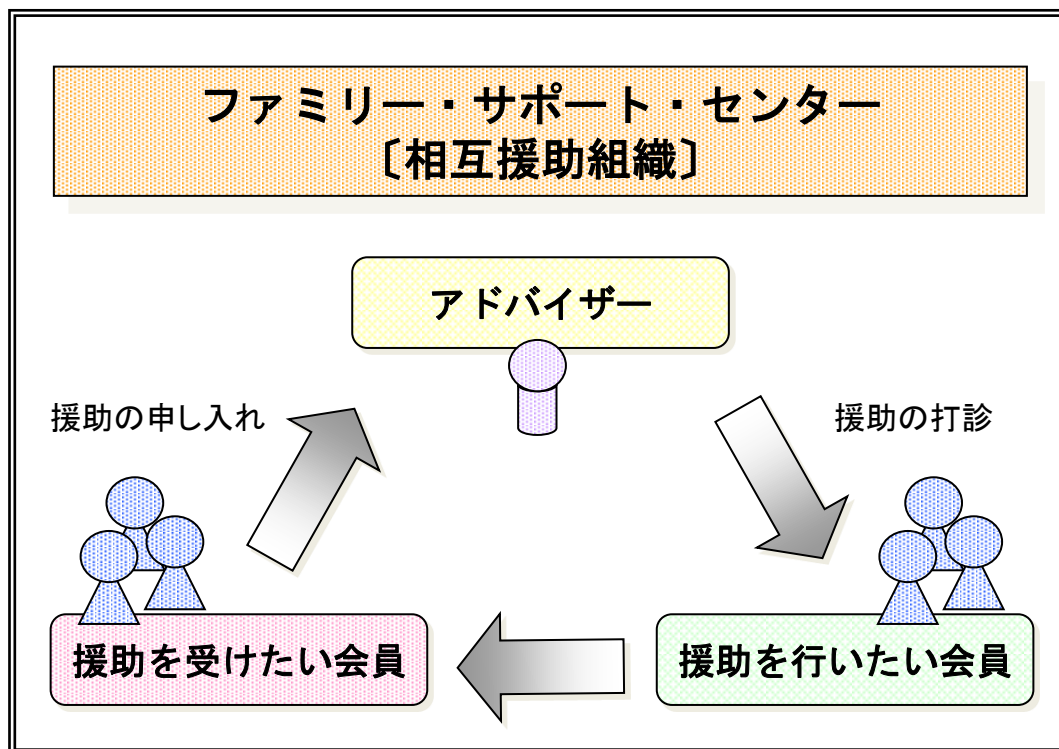
- ・保育施設までの送迎を行う。
- ・保育施設の開始前や終了後又は学校の放課後、子どもを預かる。
- ・保護者の病気や急用等の場合に子どもを預かる。
- ・冠婚葬祭や他の子どもの学校行事の際、子どもを預かる。
- ・買い物等外出の際、子どもを預かる。
- ・病児・病後児の預かり、早朝・夜間等の緊急預かり対応(平成21年度から)

○実施市区町村 ※平成26年度交付決定ベース

- ()は平成25年度末実績
- ・基本事業 774(738)市区町村
 - ・病児・緊急対応強化事業 138(132)市区町村

○会員数 ※平成26年度交付決定ベース

- ()は平成25年度末実績
- ・依頼会員(援助を受けたい会員) 475,105人(466,287人)
 - ・提供会員(援助を行いたい会員) 123,819人(123,173人)



3. パートタイム労働対策等について